

韓国・東海岸における地域開発戦略の現状と課題

江原大学校教授

具正謨

新北方政策は、韓国によって新しく提案された北東アジアプラス共同体外交の重要な側面であり、韓国経済の新しい成長エンジンを生み出す新たな手段であるとともに、朝鮮半島からロシア極東、北東アジアとユーラシアに広がる巨大な経済地域を作り出すことを狙っているものである。

新北方政策のポイントは、韓国は中国とロシアと協力してユーラシア経済共同体を構築することである。つまり、新北方政策の成功は、新北方政策と中国の「一帯一路」とロシアの新東方政策との協調、長吉図やウラジオ自由港のようなそれぞれの地方主導のプロジェクトの協力がスムーズに図ることができるかどうかにかき全面的に依存している。

一方、韓国の東海岸の都市は北東アジアの地域協力を行うための様々なイニシアチブや制度の確立に徐々に取り組んでいる。その取り組みは国の首脳会談から地方の首脳会談に広がり、環境保護、物流、観光、エネルギー、その他の分野において機能的協力が行われている。さらに、東海岸の都市は商業的な取り決めを締結することによって越境経済活動を活性化させる意欲を見せている。

これらの進展を踏まえて、本報告は韓国の東海岸都市、特に東海・浦項・釜山などの都市の役割を探り、北東アジア地域協力という文脈の中で新たに導入された韓国の新北方政策に盛り込まれるこれらの都市の発展戦略を探求する。

[ERINAにて翻訳]